

日本文化・芸術を世界に広めるために 同窓生シリーズ第83回

学校での進路講演会が大変好評で、当日お話を拝聴できなかった保護者にも、その一部を誌面でお伝えしたく、執筆をお願いしました。



独立行政法人 国際交流基金
オフィスマネジャー
朝陽同窓会USA代表幹事
横田 康子 34回生
Yasuko Yokota

太宰治が大好きだった私は小説家になりたいという夢を持って高校生活を送っていた。朝陽祭ではクラスで映画を作り、2年連続脚本を担当した。文芸部とバドミントン部に所属し、

順調な滑り出しの高校生活だったが、2年の秋、母と祖母が相次いで大病にかかり生活が一転。看病生活をしながらの大学受験で志望校に落ち、納得がいかないまま滑り止め校に入学し、大学生活が始まった。

自分は不運だ、どこか遠いところに行つてしまいたい。大学3年の夏、現実逃避で行つた稚内近くの寒村で、アルバイト先のご主人の車を運転中、崖から転落する事故を起こし、皮肉にもシビリアな現実と直面する羽目になった。どこまで自分は不運なんだと茫然としていた時、私を病院に迎えに来てくれたアルバイト先のご主人に「こんな事故でかすり傷とは君は幸運だ。生きていてくれてありがとう」と抱きしめられた。そうか！物事は捉え方ひとつで幸運にも不運にもなるんだ。人生観が変わった一瞬だった。

それからの私は物事を肯定的に受け止めるようになり、不思議と全てが順調に進むようになった。何でもチャレンジの精神で臨んだ就職活動では外資系コンピュータ会社のSE職を得、外為システム開発を3年やった。遣り甲



バラだより

11月2日

秋の鑑賞会・見学会を開催しました

バラ会は1984年に、世界的に有名なバラの研究者鈴木省三氏を顧問に、旧5回生を中心に設立されました。この日も20名ほどの会員が新宿御苑のバラ花壇を鑑賞しました。

月に2、3度の手入れを続けてきたバラ花壇ではちょうど秋バラが見ごろを迎え、学校のシンボルである「朝陽」も美しく咲いていました。この「朝陽」は故鈴木省三氏がつくったバラで、一般には販売されておらず、たいへん貴重な花です。鈴木氏が作られたバラ以外にも四季バラやつるバラ、最近人気のピエール・ド・ロンサールなども含め100本以上のバラが植えられています。

会員は卒業生と、在校生・卒業生の父兄で構成され、会員数は100名を超えます。月に2、3度の手入れに集まり、手入れをしながら、バラの話だけでなく、進路や学校生活についてなどおしゃべりしながら和やかな雰囲気です。バラの知識がなくとも、時期に応じた手入れをしていくうちに、自然にバラの育て方が身につくので気軽に参加できます。丹精込めたバラたちの春の開花も楽しみです。

取材協力 バラ会代表 駿東 浩子氏



秋のバラはととても香り高く、近くで鑑賞するのがお薦め



卒業生とPTAが手を携え、美しいバラを咲かせています

編集後記

今号は1年生の保護者が編集を担当しました。4月の入学式から、あっという間に1年が経ちました。当時をふり振り返り、新1年生の保護者のみならずへの歓迎の気持ちを込めて、楽しくフレンドリーな誌面作りを心がけました。ようこそ新宿高校PTAへ！

- 前田 奈央(1A) 伊藤 美奈(1B) 太田 みえ(1C)
柿本 由美(1D) 平山 美奈子(1D) 宮崎 薫(1E)
椀澤 弘子(1F) 小川 マユミ(1G) 喜多 美奈子(1H)

第三回運営委員会報告 (2013年12月7日 午後2時から 大会議室)

- PTA会長あいさつ
- 朝陽祭PTAカフェ、バザー、ランチの反省点と来年度提案
- 副校長先生あいさつ
- 今年度会計報告について
- 学年主任より報告
- その他
- 各事業部報告・提案